

五小の風景

No. 1

五日市小学校長 國政 直文

今年度もよろしくお祈いします

4月6日に新しい学年がスタートしました。始業式での2年生から6年生の子どもたちの顔は、どの顔も緊張の中にも意欲が感じられるものでした。入学式における1年生の子どもたちの顔もとても輝いていました。

子どもたちのやる気一杯の顔を見て、私も気の引き締まる思いでした。いよいよ新年度が始まるんだなと実感しました。子どもたちが、学校に帰ってくると、やはり活気があります。子どもたちのパワーに負けないよう、私たち教職員も気持ちをひきしめて取り組んでいきたいと思ひます。

今年度の本校の学校教育目標は「かしこく すなおに 元氣よく 伸びる子どもの育成」です。この目標達成のために「こんな子どもになって欲しいな」という子どもの姿を本校では次のように3つ考えています。

1. 主体的に学ぼうとする子
2. 思いやりの心のある子
3. 自分の体を大切にする子

なぜ、こういう子どもに育って欲しいのか。それは、将来の子どもたちの「自立・自律」につながっていくからです。

将来、子どもたちはさまざまな問題に直面するでしょう。そうした時、課題は何なのか、どうしたらその課題が解決できるのかということ、自分自身の頭でしっかりと考える必要があります。つまり主体的に問題にかかわっていく必要があります。ですから、何事にも主体的に学ぼうとする姿勢がとても大切になってきます。また、社会で生活していくなかでは、多くの人とコミュニケーションをとっていく必要があります。さまざまな人とコミュニケーションをとっていく上では、どうしても相手の立場を考える(つまり相手のことを推し量る)ことが重要になってきます。したがって、思いやる心をもつことがとても大切です。さらに、何事をするにも体調をくずしているとやる気がなかなかでできません。常に、自分の体のことを考え大切にすることが重要になってきます。自分の体を大切にすることとは、人の体も大切に考えることにつながります。

つまり、自分の頭で考え、判断するそして自分の行動を律していく「自立・自律」は、「生きる力」をつけることになるのです。

そのために、その基礎的な取組として全校で7つのことを徹底していきます。

① 基礎学力の定着(漢字、計算 平均80点以上) ② 家庭での読書の習慣(週3回以上 家庭での読書時間を10分程度) ③ 学習規律の徹底(人の話を黙って聞く) ④ ていねいな掃除(無駄話をしないていねいな掃除) ⑤ 体力の向上(敏捷性を高める) ⑥ 給食をしっかりと食べる(完食率の向上) ⑦ 家庭・地域との連携(満足してもらええる接遇、揭示)

以上の7つの取組を根底として、今年度は

- (1) 算数科の授業で、与えられた課題について自分なりの考えをもつことができるようにする
- (2) 気持ちのいいあいさつができるようにする
- (3) 一人ひとりが安心できるクラスをつくる

という3つの重点目標を掲げています。

上記のことを、今年度1年間かけて全校で地道に取り組んでいきます。今回お示した取組みや目標には、学校だけでは達成できないものも多くあります。どうか、ご家庭におかれましても、学校と同じ方向でご協力をお願いしたと思ひます。

「人間には、進歩か退歩かのいずれかがあって、その中間はない。現状維持と思ひるのは、実は退歩している証拠だ。」という格言を肝にめいじて、日々取り組んでいきたいと考えています。

今年度も、本校教育へのご支援ご協力のほど、よろしくお祈いします。

